

平成27年度 新潟市道徳部 活動報告

部長 若山 大輔 (横越小)

1 研究主題

自己を見つめ、よりよい生き方を目指す子ども
～3つの出会いを視点にした指導法の工夫～

2 研究の概要

本主題には、「自己の在り方や生き方を主体的に見つめ、よりよい生き方をめざして道徳的な実践への意欲を高めてほしい」という強い願いを込めている。

市小研道徳部では、この願いを込めて、授業では、主題の具現化に向けて「①資料における人物や価値②友達の見方、考え方③新しく見えてきた自分の姿」の3つの姿に出会わせることにより自己実現への思いや願いを培っていくことを考えた。それは、「児童自らが、資料と経験を重ね合わせて考え、友達と自分の考えを交流する中で、希望をもってよりよい生き方を見つけ出していく授業」である。「特別な教科道徳」における新しい指導法の構築を求め、授業研究を進めていく。

3 研究の実際

- 5月 道徳部役員会 ・研究発表会及び研究計画の検討
- 6月 全員研修 ・研究発表会及び研究計画の提案と意見交換・授業者の決定と役割分担
- 7月 全員研修 ・研究発表会リハーサル
- 8月 全員研修 講演会 山形市立宮宿小学校 教頭 佐藤 幸司 様
演題 「心に響く本物の道徳授業」
・新潟市研究協議会研究発表会
- 9月 全員研修 ・「私たちの道徳」活用研修会、活用情報交換会
実践発表 加藤 俊子 教諭 (葛塚小学校)
- 11月 指導案検討
・提案者 1年 大淵 栄子 教諭 (南浜小)
アドバイザー 渡邊 泰治 教諭 (早通南小) (新潟市マイスター)
4年 佐藤 正三 教諭 (桃山小)
アドバイザー 田中 修二 教頭 (白山小) (新潟市マイスター)
- 12月 研究授業
・授業者 1年 大淵 栄子 教諭 (南浜小) 主題名「学校大好きもっとよくしよう」
指導者 徳重 信 教頭 (東山の下小)
4年 佐藤 正三 教諭 (桃山小) 主題名「分かり合えること」
指導者 松葉 俊枝 校長 (笹口小)
- 1月 全員研修 ・「私の道徳授業」実践報告会
- 2月 道徳部役員会・来年度の研究、組織についての検討

4 成果と課題

- 講演会においては、道徳授業づくりに関する認識が深まった。児童の立場に立ち、解説型の模擬授業を受けることで、児童の心をつかみ、児童を動かし学んだことを更に深く心にとどめる道徳授業の力を体感することができた。
- 「わたしたちの道徳」活用研修会では、実践発表の後、全体で活用の場面、活用方法についてのグループで情報交換を行った。今後も活用の仕方を工夫していくことが課題である。
- 授業研究では、一年生では、愛校心を高めるために校長をゲストティーチャーとして活用したことで、児童の意欲を駆り立てることが明らかになった。また、四年生では、信頼、友情を高めるために自作資料の分割提示を行うことで明確に学習課題をつかませることができた。しかし、両授業ともに、学習内容の焦点化と集団思考を促すための発問のあり方が課題として残った。
- 実践報告会では、各自のレポートを持ち寄り意見交換を行った。部員の授業改善を図るきっかけとなった。
- 研究発表をすることにより4つの実践から、3つの出会いは、「自己を見つめ、よりよい生き方を目指す子ども」を育む道徳授業において有効な視点となることがわかった。しかし、友達とかわり合う場の設定や発問、振り返りの方法を工夫するなどの課題が残った。